

(1) 特別課題研究

粉末積層法による新規成形技術の開発 (1/1)		NO. 8
粉末積層法による新規成形技術の開発 (1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	内田 貴光
研究の概要	研究の内容	多品種小ロットや試作品のために型を製作しては要求される迅速な対応、コスト削減の限界にきており抜本的な対策が必要となっている。その解決策として期待されるファインセラミックスの3Dプリンターにおいては焼結の技術的課題により、実用化には程遠い。そこで本研究ではバインダー効果により粉末を接着させながら造形することで安価な装置で迅速に成形可能な新規セラミックス成形方法の開発を目指す。
	研究の目標	本研究では3Dプリンターを用いてセラミックスを成形する際に重要な粉体積層時に使用するバインダーの種類及び塗布方法を検討することで焼結可能なハンドリング強度をもたせる。また焼結後の相対密度を80%以上とし、実用可能な物性値を有することを目標とする。
	備考	[県] あいち産業科学技術総合センター管理運営事業費

(2) 経常研究

軽量ノベリティ陶器の蓄光加飾研究 (1/1)		NO. 14
軽量ノベリティ陶器の蓄光加飾研究 (1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	倉地 辰幸
研究の概要	優れた鋳込み成形性、明瞭に低い1050℃程度の焼成温度、非常に軽いなどの魅力的な特徴を有する軽量ノベリティ陶器である白雲陶器について、蓄光加飾技術を確立してマニュアル化し、アクセサリーやアロマ関連商品などの新規商品を開発して試作提示する。	

無形文化遺産「山車まつり」のデザインによる陶磁器製品開発 (1/2)		NO. 15
県内「山車まつり」観光関連製品の開発 (1/1)		
研究機関/担当者	瀬戸窯業技術センター	長谷川 恵子
研究の概要	県内行事を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産リストへの登録に向けて注目されている「山車まつり」の観光関連製品を企画・デザインし、山車まつり関係者と産地陶磁器業界に製品提案する。開発にあたっては県内山車まつり関係者らと協力体制を構築して祭の現地調査、市場調査、情報収集を行い、製品企画を立案し、山車まつりの伝統意匠や諸要素から製品デザインを展開する。	